

令和3(2021)年度 寄附受入状況と活動報告



宇都宮大学3C 基金

宇大スピリット3C精神（Challenge、Change、Contribution）を冠した本基金は、皆様から多くのご支援をいただき、広く社会で活躍しうる人材の育成にむけて、奨学金の給付、教育研究活動、地域への貢献活動、キャンパス環境の整備等の支援に活用させていただいております。

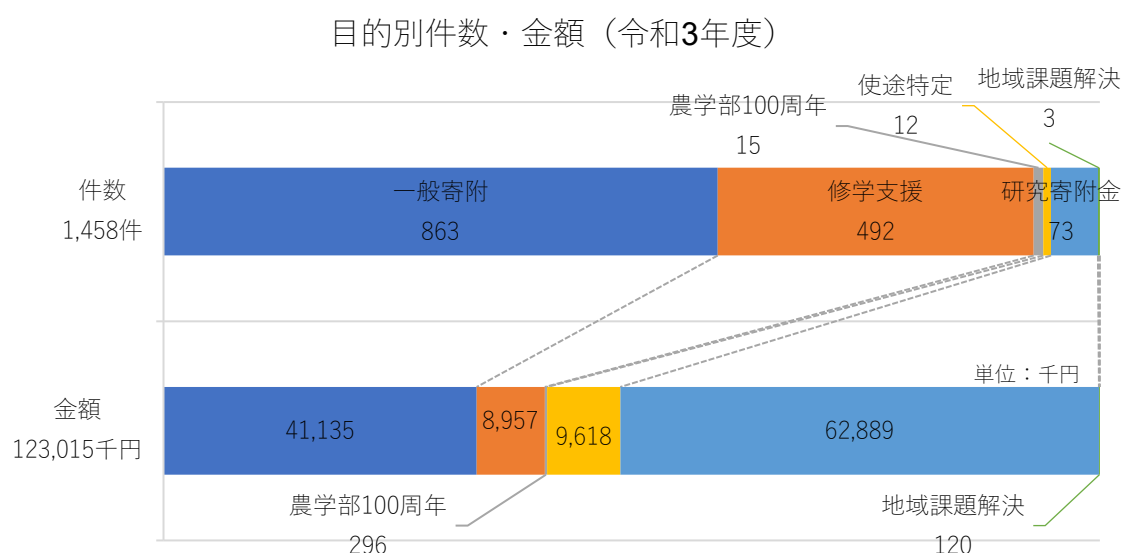
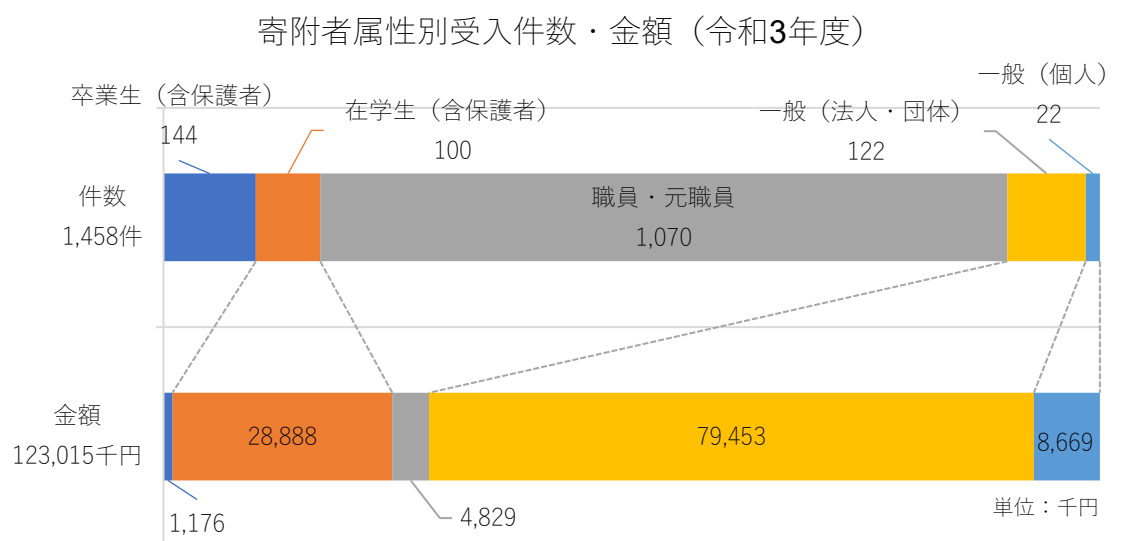
本基金の趣旨に対し、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴した皆様には厚く御礼申し上げますとともに、令和3年度の寄附受入状況と支援活動についてご報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

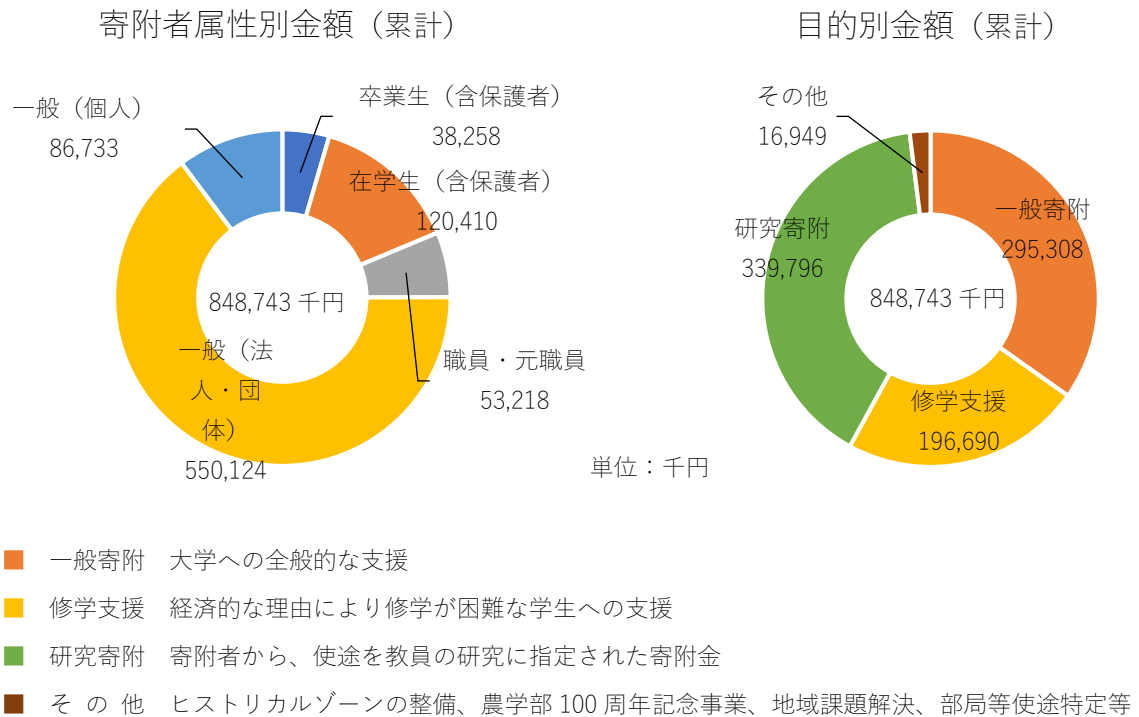
宇都宮大学3C基金が発足した平成29年度から令和3年度までに、卒業生、在学生、一般、職員（元職員）の方々から総額約8億4,874万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、119名の個人の方々と30法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただいております。

(1) 令和3年度受入れ実績

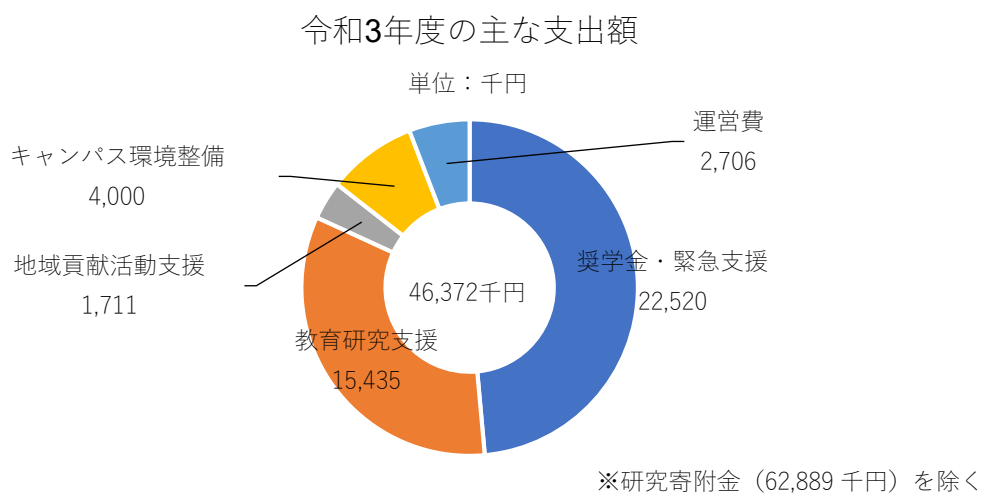


(2) 平成 29 年度から令和 3 度までの受入れ実績



2. 支援した事業

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



(1) 奨学金・緊急学生支援

1) 飯村チャレンジ奨学金

光陽エンジニアリング株式会社様からのご寄附を活用し、チャレンジ精神旺盛な学生を支援する奨学金です。

新型コロナウイルス感染症拡大が収束しないことから、令和3年度は前年に引き続き例年の2倍近い28名の学生に対し月額3万円/12ヶ月（合計36万円）を給付しました。給付者については、コロナ禍であってもボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛で経済的な支援が必要と認められる学生を書類と面接によって選考しました。

令和4年3月には、奨学生のボランティアや研究活動についての報告会を開催しました。



最終発表報告会

2) 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないように栃木県内高校出身の学生11名に対し、入学時に必要となる学資の一部として330万円を給付しました。

なお、選考は令和2年度中に実施し、入学後の令和3年4月に給付しました。

3) 学生ピアサポート

新入生に対し、上級生が学生ピアサポートとしてメンタル面を含めた様々な相談に対応しています。オンライン等により気軽な話し相手となることで不安や疑問に向き合っています。

宇都宮大学学生後援会様からのご寄附を主な原資として、のべ362名（前期163名、後期199名）に対し、総額724万円を学生ピアサポート奨励費として支給しました。

なお、このピアサポート制度を学生の立場から先導する「ピアサポートリーダー」たちが、学生をサポートするために何をすべきかなどを話し合い活動しています。



ピアサポートリーダーの活動

4) 関スポーツ奨学金

関雅樹様（株式会社栃木ブレックス取締役会長）からのご寄附を活用し、課外活動団体（体育系で各種競技大会に出場している任意団体）に所属し、積極的にスポーツ活動に参加し、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生に対して、1名あたり10万円を給付する奨学金です。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限のため、募集は行いませんでした。

5) 増山奨学金―外国人留学生支援奨学金―

増山律子様からのご寄附を活用し、大学院修士課程及び大学院博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績及び人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生を支援する奨学金です。

令和3年度は、19名（前期10名、後期9名）に対して、それぞれ10万円を給付しました。

6) 増山奨学金―海外留学支援奨学金―

増山律子様からのご寄附を活用し、世界トップクラスの大学等へ留学するために、経済的支援が必要な学生へ給付する奨学金です。

令和3年度は、条件を満たす者がいなかったため支給はありませんでした。

7) 斎藤裕奨学金

理工系の学士課程4年生と大学院修士課程及び博士前期課程に在籍する学生のうち、先進的な研究開発に意欲がある学生に給付する奨学金です。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限のため、募集は行いませんでした。

(2) 教育研究支援事業

1) 教育プログラム支援

学部等が行う国際連携教育活動を支援するものです。6 件の支援事業のうち、以下の 3 件に対し 109 万円の支援を行いました。

- ・ 災害時に役立つ「ものづくり」研修
ーマレーシアおよびベトナムの大学交流促進と連携ー
- ・ 農学部・国際学部連携 国際協力人材育成プログラム
- ・ 国際連携野外実習を通じた森林資源管理・利用と環境保全の共存に関する全学レベルの国際教育プログラム開発 2021（オンライン版）



マレーシアのマラヤ大学と合同開発した「健康+安全アプリ」が、マレーシアテクノロジーアワード 2021 で銀賞を受賞

2) 3C 留学奨励金

海外派遣プログラムに参加する学生に、諸経費等を支援するものです。

オンラインで行う海外英語研修 20 名及び国際インターンシップに参加した 3 名の学生に対し 62 万円の支援を行いました。



相手大学とオンラインで開催した海外英語研修クロージングセレモニー

3) 大学院生研究奨励金（研究グラント）

フィールドワークや各種調査等に主体的・意欲的に取り組む大学院生に対して支援するものです。

流体、磁気、食品、ウイルス等を研究する 7 名の学生に対し 84 万円の支援を行いました。

4) 斎藤裕研究助成金

先進的な理工系の研究者支援のため、若手教員へ助成を行うものです。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策のため、派遣は行いませんでした。

5) 飯村 SDGs 推進奨励賞

光陽エンジニアリング株式会社様からのご寄附を原資として、地域社会でのSDGs推進を目指す教育・研究プロジェクトや意欲的なSDGs推進活動を奨励するものです。

令和3年度は、事業見直しのため募集を行いませんでした。

6) 教育設備の充実

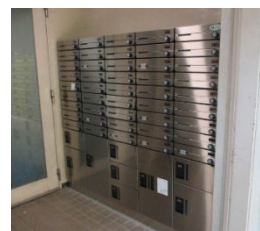
基盤教育英語科目（EPUU）における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、学生 1 人に対し 1 台の iPad を使用しています。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い iPad を使用した対面授業ができず、保守費とセキュリティ関連に対し 45 万円を支出しました。

7) 学生支援

学生が不在中に宅配荷物を受け取ることができるよう、宅配ボックスを女子寮に設置しました。また、マイナンバーカード取得促進のため、カードを取得した学生に対し、学生食堂で使える学食パスの特典を付与しました。

これらに対し、264 万円を支出しました。



女子寮に設置した宅配ボックス

8) 女性研究者海外派遣助成

女性研究者が海外の研究機関・教育機関において研究を行い、高度な研究力、国際性及びリーダーシップ力を身につけることを支援するものです。

令和 3 年度は、オンラインで研究を行う 3 名に対し 15 万円の支援を行いました。



オンラインで行った報告会

9) 部局等使途特定支援

部局の活動やプロジェクト支援等寄附先や使途を指定して支援できる仕組みで、令和 3 年度は、学部、センター、課外活動クラブ等宛に 961 万円を受け入れ、それぞれの活動に積極活用されました。

(3) 地域貢献活動支援事業

1) 地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献ファンドの運用益を活用し、コロナ禍において地域に貢献する学生の活動 5 件に対し、54 万円の支援を行いました。



学生が企画したバーチャル宇都宮大学

2) 3C キッズカレッジ

次世代育成事業として、理科実験体験やものづくり教室など、12 件の子ども向け体験活動講座・教室活動に対して 117 万円の支援を行いました。



子ども国際理解サマースクール

(4) 特別事業予算

キャンパス環境整備（建物改修に伴う環境整備等）の積み立てのために 400 万円を振り替えました。

また、ヒストリカルゾーン（大谷石蔵、庭園、講堂）整備のため毎年積み立てていましたが、令和 3 年度は事業再構築のために振替は行いませんでした。

(5) 研究寄附金

学術研究に要する経費など、教育研究の奨励などを目的に寄附者から指定された教員等へ合わせて 6,289 万円を受け入れ、当該教員の学術研究及び教育活動等に使用されました。

(6) 基金運営費

銘板やサポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等、寄附者の方々への対応費用として134万円を支出しました。

また、人件費、基金管理システム改修費、リーフレット作成等3C基金運営の事務費用として136万円を支出しました。

3. 今後の計画

令和4年度は、引き続き学生の学修機会を最大限に確保できるよう、学びの継続のための多角的な施策により、支援体制を強化していきます。ヒストリカルゾーンの整備についても方向性がまとまりましたので、工事に着手する予定です。

また、キャンペーンやクラウドファンディング等を展開し、様々な受入と支援の方策やそれに付随した大学認知度の拡大を図っていきたいと考えています。

引き続き、宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実を図れるよう支援事業の拡充に取り組んで参ります。今後とも、宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学3C基金事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

tel: 028-649-8177

e-mail: kikin@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



3C基金ロゴマーク

栃木県の方言で、フクロウをホロスケと言うことから、「ほろ＝少し」と「助っ人」を組み合わせ、様々な活動に少しずつ支援を行う基金という意味を持たせています。